

阿寒摩周国立公園・弟子屈町

川湯温泉街まちづくりかわらばん

～「湯の川がつむぐカルデラの森の温泉街」の実現に向けて～

発行：令和6年8月 川湯温泉街まちづくりマスタープラン推進協議会

「川湯温泉街エリア交通計画」の策定に向けた
議論を進めています

環境省が推進する国立公園満喫プロジェクトにおいて地域指定された8つの国立公園のひとつに阿寒摩周国立公園が選定されたことを受け、弟子屈町では、川湯温泉街の再整備に関する基本的な方針として、「川湯温泉街まちづくりマスタープラン」を令和5年10月に策定しました。

このマスタープランの推進のため、「川湯温泉街エリア交通計画」の策定に向けた**第5回ワーキンググループ会議**を開催しました。

ワーキンググループ
会議の様子3グループに
わかれて議論議論した内容を
発表しあって共有

【第5回ワーキンググループ会議 開催概要】

- 日時/7月23日(火)13:30～15:30
- 場所/川湯ふるさと館
- 参加/16人
- 事務局/弟子屈町観光商工課、環境省阿寒摩周国立公園管理事務所、街制作室(株)、(株)日本海コンサルタント

● 議論のテーマ／基本的な方向性

1.現状・課題について

- 道路や交通の面で日頃困っていることはありますか？
(地元目線／来街者目線)

2.方向性について

- 川湯温泉街の中で、歩行者優先にすべき道路の方向性についてどう思いますか？
- 硫黄山・川湯温泉駅方面、屈斜路湖方面(半径 3km 圏内)の往来をしやすいするための方策について、どんなことが考えられますか？

▼エリア交通計画の基本的な方向性

道路空間活用や駐車場のルール

- 歩行者優先(or専用)路線では、車両の通行を控えるよう努める。
- 地区内での路上駐車はしないよう努める(荷さばき車両等の一時駐車は除く)。
- 道路からのセットバック部分を駐車場として使用しないよう努める。
- 来街者に対して、各店舗の駐車場又は共同駐車場に誘導する。

<論点>

- ✓ どの区間をどのような道路にすべきか？
- ✓ 暮らしている人、商売している人の駐車場はどうあるべきか？

歩行者優先
※歩車共存 or 歩行者専用
歩車分離路線
※エリア全体としてゾーン30を想定



● 主な意見(キーワード)

【現状・課題】

- 地元の人による路上駐車が多い・美しくない／来街者にとって駐車場がわかりにくい／観光客向けの公共交通が少ない／JR 川湯温泉駅はインバウンドが多く温泉街まで歩いて来ている／宿泊施設によっては駅まで送迎／レンタカーは冬の運転が怖いとの声がある／硫黄山まで往復5km を歩くのは厳しいとの声がある ……など

【方向性】

- 温泉街の中を人中心にしていくことは賛成／歩行者専用区間と歩車共存区間を分けて考えるべき／一方通行にして歩行空間を広くとる／車両動線と歩行者動線をわかりやすく示す／まちなかの空地に駐車場＋バスターミナル＋回遊を促すモビリティを整備／乗り捨て可能なレンタサイクル／冬期の公共交通の強化／季節や時間帯に応じた交通規制／地域住民や商業者が停められるまちなかの駐車場の整備／歩行空間と目的となる場所を同時につくる(今は歩行者優先にしても歩かない) ……など



▼次回の予定

第6回ワーキンググループ会議

- 日時 令和6年9月17日(火)13:30～
- 場所 川湯ふるさと館
- 内容 エリア交通計画の具体化に向け、意見交換を行います

※初めての方もぜひご参加ください！(事前に電話でご連絡ください)

今回のWGで挙げられた
たくさんのご意見を踏まえて、
エリア交通計画の方向性について
より具体的に議論をしましょう♪

▼お問い合わせ先

弟子屈町観光商工課 観光振興係
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号
TEL:015-482-2940
FAX:015-482-2696

各種資料や推進状況をお知りになりたい方は、
弟子屈町役場公式ホームページもご覧ください。

